

東日本大震災（その45）
（外務省の対応）

平成23年4月11日
外務省緊急対策本部（14:30）

1. 外国による支援への対応

- (1) 134ヶ国・地域及び39国際機関が支援意向を表明。
援助チームの来訪（来訪済みもの計24ヶ国・機関）（別紙参照）
※援助チームと現場との調整等のため外務省員をリエゾンとして派遣。
(a) 活動中：人道支援関係：1機関（WFP）
原子力関係：2ヶ国・機関（米、IAEA）
- (b) 活動終了（終了決定含む）：人道支援関係：22ヶ国・地域及び国際機関（シンガポール、独、スイス、メキシコ、英、米（原子力関係は活動中）、NZ、伊、露、モンゴル、中、韓、露、仏、インドネシア、南ア、インド、トルコ、イスラエル（医療支援）、台湾、UNDAC、UNOCHA）
- (2) 在日米軍による協力
(a) 福島第一原発に係る支援：消防車2台及びポンプ機5基の輸送・提供、防護服・マスク99着の提供（さらに、同種の防護服150着を追加提供予定）、ホウ素9tの輸送・提供、淡水を積載したタンク船（ほしけ）2隻の提供。無人偵察機等の画像の提供。
(b) その他：「トモダチ」作戦の下、空母・強襲揚陸艦等の艦船約20隻、ヘリ・給油機等の航空機約100機、人員計20,000名以上を投入（最大時）し、捜索・救助活動、食料・水・医薬品等の支援物資の輸送・提供活動等を実施。投入されている艦船等（含：空母）の数は減少傾向。
- (3) 米軍による協力
米軍の輸送機（C17）が自衛隊と連携し国内輸送を支援（3月15日～25日）。
福島第一原発の冷却に必要な特殊ポンプを豪州から緊急輸送。
- (4) 物資支援（別紙参照）
在日米軍が食料・水・医薬品等の支援物資を輸送・提供。各国・地域からの物資支援も順次行われ、4月11日時点で43の国・地域・機関からの物資が既に日本に到着し、順次被災地等へ配達されている。日本赤十字社への寄付金送金手続につき情報提供。
- (5) NGO等による協力
62ヶ国・地域から1800以上のお見舞い・支援申し出（NGO：約150、企業：約300、個人他：約1450）。数多くの米国企業から多額の義援金申し出。少なくとも16カ国・39団体が来日した模様。日本のNGOであるジャパン・プラットフォームが、海外NGO等の支援について調整機能を果たすべく、窓口を立ち上げた。

2. 在日外国人の安否確認

- (1) 外交団等：外交団及び国際機関に対し、関係連絡先、英語の情報提供サイト、原発事故関連情報等を累次周知。外交団等被害は軽微な物損のみ。在京大の自国民保護活動の円滑化の手続き等（チャーター機、車両交通等）につき国交省、警察庁等と調整支援。在京外交団等の機能移転につき情報収集中（4月11日現在11公館が一時閉鎖）。
- (2) 在日外国人：各在京大より安否確認依頼情報を聴取し、とりまとめ警察庁と情報共有。今後の身元確認作業のため、3月22日及び24日、在京大使館へ説明会を実施。
- (3) 外務省関連事業：外務省招へい、JICA事業、国際交流基金事業の中国人高校生・外国人研修生の安否確認終了。JETは東北の2名死亡。
- (4) 外務省ホームページに本地震に関するサイト（日本語・英語）立ち上げ済み。3月15日より中国語、韓国語でも情報発信を開始。
- (5) 自治体への職員派遣：在日外国人対応のため岩手県及び宮城県に職員計6名を派遣（中国語専門家、岩手県3月17-23日（3名）、宮城県3月25-31日（3名）。（別送、被災地地方公

共団体への国家公務員による人的支援として、岩手県宮古市へ職員4名を派遣（物資仕分けの支援等）（3月28日-31日）。

- (6) 加、英、仏、伊、スウェーデン、スペイン、ノルウェー、ベルギー、サウジアラビア、ASEAN 諸国（インドネシア、タイ、ベトナム等）、インド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュ、豪、メキシコ、中国、モンゴル、台湾、ロシア、キルギス、カザフスタン、イラン等が安否確認、在日自国民等の保護（含む東北地方からの退避）等を実施。

3. 福島原発事故・原発事故を受けた各国の輸出入等関連措置への対応

- (1) IAEA及び米国、仏、英等との協力
一 地震発生後の原子力発電所の状況等についてIAEA、米韓中に通報。3月18日に天野 IAEA 事務局長とともに放射線の計測に係る IAEA 専門家チームが訪日。18日より福島県内を中心に、放射線計測を実施している。21日、ウィーンにて福島原発事故に関する事務局長の訪日報告を議題とする IAEA 特別理事会が開催。28日、FAO との合同による食品モニタリングに係る専門家チームが訪日し、27日以降関係自治体等との間で協議。31日、天野 IAEA 事務局長は、5月20日～24日にウィーンで原子力安全に関する IAEA 閣僚会議開催を発表。4月1日、海洋における放射線計測に係る専門家チームが、また、3日及び7日沸騰水型原子炉（BWR）の専門家チームが訪日。4月4日から原子力安全条約検討会合のサイドイベントとして IAEA 及び日本政府共催のセミナーを開催。
一 3月13日及び16日、米原子力規制委員会（NRC）の専門家2名が到着。15日までに米エネルギー省の専門家2名が到着。30日には PNNL（太平洋北西国立研究所）の専門家2名が到着。21日には防護服1万着が到着。19日以降、仏より防護服、防護マスク、放射線測定器等原子力関連物資が到着。さらに、4月2日、英国より放射線測定器、防護マスク等原子力関連物資が到着。
- (2) WHO への対応
一 放射線による健康リスクの懸念を有する WHO に対し、岩手県から現状及び政府の取組（下記外交ブリーフの内容）についての情報を提供中（厚労省は国際保健規則（IHR）に基づき別途 WHO に直接情報提供中）。WHO は、3月23日に在岩手府の各国代表部を対象に震災の状況についてブリーフィングを開催。菅岩手府代大使が我が国の状況につき説明。
- (3) 国際世論への働きかけ
一 ハイレベルでの説明：3月14日の G8 外相会合、日露外相会談、3月19日の日中韓外相会議、日中、日韓外相会談、4月9日の日 ASEAN 特別外相会議で松本大臣から直接説明。3月31日の日仏首脳会談で菅総理から直接説明。
一 在外公館を通じて働きかけ：原子力発電施設をめぐる現状を更新し、全在外公館に送付（3月11日～4月2日、4月4日～4月9日）。関係者に正確な情報を発信し冷静な対応を要請。我が国からの輸入貨物に対する各国・地域の措置について調査、情報収集を行うとともに、各国政府等に対しては我が国のとった措置を始め事実関係の説明や、事実関係に基づく合理的な判断を御願ひしたい旨の申し入れを実施。
一 在京外交団・外国プレスへの働きかけ：ブリーフを毎日開催。関連情報を随時在京外国プレス他に向けて発信するとともに、英語版 HP に掲載。特に原発事故を受けた各国の輸出入等関連措置等に関しては、各国の関係当局が科学的かつ合理的な判断に基づいて適切な対応を行うよう、関係省庁の参加の下、ブリーフィングを実施。官邸国際広報室に当省より応援職員2名を派遣中。3月31日、在京の外国企業等に対するブリーフを実施（外務・経産が協力しJETRO本部で開催）。一 関係省庁の副大臣会合を開催（3/31）。各国の輸入検査等の強化の現状とその対応策について協議。各国に対し、日本の措置につき丁寧に説明し、円滑な輸入手続の再開を働きかけていくことを申し合わせた。
一 マルチの場を通じた働きかけ：3月29日の WTO 貿易交渉委員会（TNC）及び30日の WTO 衛生植物検疫措置の適用に関する委員会（SPS 委員会）において、小田部在ジュネーブ代表部大使から、我が国のとっている措置について説明するとともに、各国の冷静な対応を呼びかけ。
- (4) 退避者等の受入

取扱注意

JICA施設(二本松市。福島第一原発より50km強)にて原発避難者等235名を受け入れ(4月11日午前現在)。JICA本部からも応援要員3名、及び青年海外協力隊員有志5名を派遣。

4. 会談

(1) 電話会談

*実施済み

首脳:日米(3/12,17 早期,30 午前),日韓(3/13),日豪(3/13),日NZ(3/14),日露(3/14),
国連事務総長(3/16),日仏(3/18),日EU(3/22),日印(3/23),日英(3/24),日独(3/30),
日EU(4/4)

外相:日英(3/11,12),日米(3/12,23),日豪(3/12),日NZ(3/18),日ブラジル(3/17)日インド
ネシア(3/22)

(2) 会談

*実施済み

首脳:日仏(3/31)

外相:日露(3/14),日米(3/15),日中韓・日中・日韓(3/19),日独(4/2),日ASEAN・日インドネ
シア・日タイ・日カンボジア・日フィリピン(4/9),日アルゼンチン(4/11)

(T)

【調査状況】

海外国等からの物資支援実績一覧

2011年4月11日
訂正

国・地域・機関	物資内容	日本への輸入日	輸入品名
米国	米原産地特産品(米、小麦、大豆、飼料、飼料用穀物、飼料用油、飼料用粕、飼料用糠、飼料用殻、飼料用皮、飼料用骨、飼料用血、飼料用毛、飼料用角、飼料用蹄、飼料用爪、飼料用歯、飼料用舌、飼料用胃、飼料用腸、飼料用胆、飼料用腎、飼料用心臓、飼料用脾臓、飼料用膵臓、飼料用睾丸、飼料用卵巢、飼料用子宮、飼料用陰道、飼料用陰莖、飼料用陰囊、飼料用陰茎、飼料用陰毛、飼料用陰皮、飼料用陰肉、飼料用陰膜、飼料用陰管、飼料用陰囊、飼料用陰茎、飼料用陰毛、飼料用陰皮、飼料用陰肉、飼料用陰膜、飼料用陰管)	臨時	各地
国際連立赤十字会(ユニセフ)	水(約4万本)、予備用下着(20万枚)、おもちゃ、おむつ、紙製キット、レクリエーションキット、帳本、読字帳(大量購入)	臨時	宮城県 岩手県 福島県
中国	12人用シート500枚、8人用シート400枚、毛布2,000枚、手拭いタオル2,000枚	3月14日	宮城県
	水(約25本)、使い捨てゴム手袋(20万枚)	3月28日	宮城県 岩手県 福島県
	家庭トイレ30個、車庫ゴム手袋1万個、スニーカー2.5万足	3月31日	宮城県
	ガソリン1万トン	4月2日	各地
	ディーゼル油1万トン	4月3日	各地
香港	食料(食糧約2万個)	4月9日	福島県
台湾	携帯電話90台、毛布735枚、寝袋1,500個、スリーピングマット201個、衣類(防寒着等を含む)3,421着、水袋103トン、スツール100台、マスク34箱、カイロ10箱	3月14日 ~21日	宮城県 福島県 岩手県
モンゴル	毛布(約2,500枚)、セーター・着下等の防寒衣(計約400着・足)	3月14日 ~15日	宮城県
インド	毛布(26,740枚)	3月18日 ~30日	福島県
	水(166ml×約12万(約10トン分))	3月23日	宮城県
	ビスケット(約10トン)	3月28日	宮城県
カナダ	毛布(約2.5万枚)、放射線計測機154台、放射線検出器300台	3月17日 4月6日	宮城県 山形県 福島県 岩手県
タイ	毛布(約2万枚)	3月17日	福島県 山形県
	サバイバルキット(160個)、寝袋(1,000個)、衣類(約2万着)、ラベン(2.9万本)、雪中電灯(約150個)	3月18日 ~28日	岩手県 宮城県(東及び石巻市) 福島県 埼玉県 東京都
	雪中電灯(約400個)		埼玉県 東京都
	水(1.5L×約8,000本)		宮城県
	防寒具(400個)、お湯(17箱)、サバイバルキット600セット、水(500ml×4.5万本)、ラベン252本		岩手県(東及び大船渡市)
毛布(16,000枚)	岩手県 福島県 東京都		
ウクライナ	毛布(2,000枚)	3月17日	福島県
国際連立赤十字会(ITU)	所製移動電源用充電器の良子(152台)	3月17日 ~22日	岩手県 宮城県
インドネシア	毛布(約16,000枚)	3月18日 ~20日	岩手県 山形県 福島県
キルギス	水(5ネラルウォーター約2.6トン)	3月18日	宮城県

フランス	毛布(8,000枚)	3月18日	山形県	
	毛布(8,876枚)、マスク(81万2千枚)、防護服・防護マスク(約2万着)、放射線計測機(150台)、水筒110台、発電機5台、コンプレッサー3台、車載充電器1台、修理用工具等(1台)、電線55トン、汎用アルミニウム2トン、食料品10トン、水(0.5L×10万400本)	3月25日	岩手県 福島県 宮城県	
	防寒具(1,000着)	4月5日	福島県	
シンガポール	毛布(4,200枚)、水(0.5L×1万本、1.5L×1万本)、マットレス(200個)、水筒(20L×3,000個)、防寒衣(4,000着)	3月18日	宮城県	
韓国	毛布(8,000枚)、水(100トン)	3月18日	福島県	
	食料(レトルト食品(30,000個)、チコパイ(12,000個)、ラーメン(128,024個)、茶葉(4,000袋)、ゴム手袋(12,000個)、ペットボトル茶(14,000本)	3月27日	宮城県	
	水(400トン)、衛生、レトルト食品	4月2日	宮城県	
	マスク(2万個)、石けん(2万個)、作業用手袋(3,000個)、レトルト食品及び飲料(2,000個)	4月5日	岩手県	
ロシア	毛布(17,250枚)、水(3.6トン)	3月19日	宮城県	
コロンビア	水、黒砂糖、食料、調味料、トイレトイペーパー等	3月23日	宮城県	
ウズベキスタン	シート300枚、毛布2,000枚、防寒衣2,000着	3月22日	福島県 宮城県	
イラン	食糧3万個(ツナ及びインゲン豆、各2万個)	3月24日 3月31日	宮城県	
EU	オランダ	マットレス(1,900台)	3月24日	宮城県
	デンマーク	毛布(2,910枚)	3月24日 3月28日	岩手県 福島県
	リトアニア	毛布(2,000枚)、寝袋(300個)	3月24日	宮城県
	フィンランド	放射線計測モニター(50台)	4月5日	宮城県
	ハンガリー	食料品(カップラーメン(29,814食)、缶詰(8,840個)、チョコレート(27,600個)、チョコレートアブラチップ(28,800個)(食料品2トン分))	4月5日	宮城県
	スウェーデン	放射線計測機(10,000台)、ゴムブーツ(218足)		
	スロバキア	放射線計測機(1,000台)、水筒(1,000本)、靴(1,000双)、枕(1,000個)、枕(1,000個)、枕(1,000個)		
ベネズエラ	毛布(8トン)、寝袋(1,100個)、水(約2.6トン)	3月24日	福島県 宮城県	
マレーシア	食料品パック(約2,000個)	3月24日	宮城県	
国際連立赤十字会(WFP)	防寒衣(約20万着)、毛布(約20万枚)、毛布(約20万枚)等の物資(毛布、食料等)の国内輸送を実施	3月21日 3月22日	宮城県(東及び石巻市)	
フィリピン	食料品パック(1,800個)、カップめん(1,800個)、パスタ(1,000袋)、マッシュポテト(1,000袋)、防護マスク(5,000枚)	3月25日	宮城県 岩手県	
パキスタン	水(1.5L×900本)	3月26日	宮城県	
	常備保存可能な食料パック(11トン)、高効率ロービケット(10.5トン)			
ネパール	毛布(1,000枚)	3月26日 3月27日	埼玉県	
イスラエル	家庭トイレ(130個)、手袋(8,200個)、アクリルガラス毛布(6,000枚)、コート(1万着)	3月27日	福島県	
メキシコ	防寒衣(約1トン)、防寒器具セット(約3トン)、水(約1.1トン)	3月27日	宮城県 茨城県	

英国	水(約100トン)	3月20日	英陸軍
	社(付録)付録、無人機燃料、及ウクライナ軍用機、防護具、防護フード等	4月2日	調車中 (一社送品系)
国連児童基金 (UNICEF)	ソーラーランプ(1,394個)	3月29日	宮城県
パンダサテ リュ	帆布(2,000枚)、ゴム長靴(200足)、ゴム手袋(1,000対)	3月31日	新潟県 富山県
トスコ	缶詰、シューズ(5,000枚)、ツナ缶(約1,000個)、ウズラ豆缶(約20,000個)、次(115トン)	4月4日	東京都 埼玉県 茨城県
ウルグアイ	コンビーフ缶(4,800缶)	4月4日	宮城県
グアテマラ	食料(粉類、缶詰等)、果実ドリンク、水(400m ³ ×10,000本)	4月8日	宮城県 茨城県 千葉県
タンザニア	インスタントラーメン	在庫大が在庫で 購入	宮城県

※本表は、日清貿易株式会社が行った輸送実績及び輸送品・輸送量の提供を基に作成されたもので、
 輸送品目等からの輸送実績の提供については、本表を本表の輸送品目等と対応する輸送品目等との提供を基に
 作成したものである。